2026年11月9日

各　位

会社名　ミガロホールディングス株式会社
代表者名　代表取締役社長　中西　聖
（コード番号　５５３５、東証プライム）
問合せ先　取締役CFO　岩瀬晃二
（TEL.　０３－６３０２－３６２７）

2027年３月期 通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2026年11月９日開催の取締役会において、2027年３月期（2026年４月１日～2027年３月31日）の通期連結業績予想を下記の通り修正することを決議いたしましたのでお知らせいたします。

記

１．2027年３月期連結業績予想の修正（2026年４月１日～2027年３月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	１株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A) (2026年５月11日公表)	65,000	3,300	2,450	1,500	23.33
今回修正予想（B）	65,000	3,600	2,650	1,600	24.88
増　減　額（B－A）	－	300	200	100	
増　減　率（%）	－	9.1	8.2	6.7	
（ご参考）前期実績 (2026年３月期)	57,532	3,061	2,347	1,434	23.44

※当社は、2025年６月１日を効力発生日として、普通株式１株につき普通株式２株の割合で株式分割を実施しております。１株当たり当期純利益につきましては、当該株式分割後の金額を記載しております。

[修正の理由]

当社グループの成長の柱であるDX推進事業は、DX・AI関連人材の拡大とともに、顔認証IDプラットフォームサービス「FreeiD」の事業拡大に加え、AIソリューションの提供を主軸に企業のAX・DXを支援するデジタルインテグレーション事業の収益性拡大等により、収益性の向上をもって業績を伸長しております。また、当社グループの収益の柱であるDX不動産事業は、昨今の賃料の上昇による不動産価格の上昇や社内の生産性向上施策などにより、堅調な業績進捗をしている状況にあります。

当連結会計年度は、世界情勢に対する懸念や景気変動、長期金利上昇圧力といったDX不動産事業の不透明な事業環境、今後の成長を担うDX推進事業への継続的な投資を勘案し、保守的に業績予想を立てておりましたが、上期における収益性（単価の上振れ）が想定より高い水準にあり、2026年５月11日の通期連結業績予想発表時点よりも順調に利益が計上されていることから、DX推進事業における優秀な人材の積極採用やAIによる事業構築投資、顔認証IDプラットフォームのシステム開発投資、販促・マーケティング活動の積極化など、注力領域における積極投資は引き続き行いつつ、全体として、経費関連の上期実績をベースに下期を想定したうえで、2027年３月期の連結業績予想を修正いたしました。

この結果、売上高予想は65,000百万円に据え置き、営業利益予想を3,600百万円、経常利益予想を2,650百万円、親会社株主に帰属する当期純利益予想を1,600百万円に上方修正いたしました。

※連結業績予想に関する留意事項

上記の連結業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき判断したものであり、実際の業績は今後様々な要因により予想数値と異なる場合があります。

以　上